

チームスポーツにおけるノンバーバル・コミュニケーションの重要性 ～セパタクローの試合の分析から～

The importance of nonverbal communication in a team sport: An analysis of a sepak takraw match

1K10C442 森山 諒子

主査 リー・トンプソン 先生

副査 石井昌幸 先生

【目的】

チームスポーツにおいてコミュニケーションは重要である。私は大学のサークル活動でセパタクローというチームスポーツをやっていたが、そこでチームスポーツにおいて人とのコミュニケーションは重要であるということを実感した。

ノンバーバル・コミュニケーションは、コミュニケーションにおいて大きな比重を占めるとされているが、人とのコミュニケーションが重要であるチームスポーツにおいても果たす役割は大きいと考える。このことを明らかにできれば、スポーツチームのチーム力向上に役立てることができるだろう。

この問題を解明するためには、チームスポーツの中のノンバーバル・コミュニケーションについて調べる必要がある。ノンバーバル・コミュニケーションは、チームスポーツの勝敗に関係しているのだろうか。

本研究では、チームスポーツであり、自身もやっていたセパタクローに注目し、その中のノンバーバル・コミュニケーションを調査することにより、チームスポーツにおけるノンバーバル・コミュニケーションの重要性を探る。

【方法】

ノンバーバル・コミュニケーションの回数と勝敗の相関関係を調べるために、セパタクローの試合2セット分のYouTube動画から、チームごとの選手間のノンバーバル・コミュニケーションをサンプルとして抽出し、抽出したチームごとのノンバーバル・コミュニケーションの回数を数えた。(抽出した動作は、①片手でタッチをする、②両手でハイタッチをする、③体に触れる、④円になって手をつなぎ、⑤円になって手をつなぎ、その後両手でハイタッチをする、の五つとした。)

そして、“勝った(セットを取った)チームの選手間のノンバーバル・コミュニケーションの回数は、負けた(セットを取られた)チームよりも多い。”という仮説を明らかにするために、以下の四つの比較を行った。

- (1) 勝った(セットを取った)チームの選手間のノンバーバル・コミュニケーションの回数と負けた(セットを取られた)チームのノンバーバル・コミュニケーション

の回数の比較。

- (2) チーム関係なしに、得点前のノンバーバル・コミュニケーションの回数と失点前のノンバーバル・コミュニケーションの回数の比較。
- (3) チームごとの得点前のノンバーバル・コミュニケーションの回数と失点前のノンバーバル・コミュニケーションの回数の比較(これは、各回数をそれぞれ点数で割り、プレーの合間1回分の回수에平均化したものを比較)。
- (4) 勝った(セットを取った)チームのノンバーバル・コミュニケーションの回数と負けた(セットを取られた)チームのノンバーバルコミュニケーションの回数の比較。

【結果】

第一に、(1)の比較では、1セット目も2セット目も、動作五つのうち三つで勝った(セットを取った)チームの回数の方が負けた(セットを取られた)チームの回数よりも多かった。

第二に、(2)の比較では、動作五つのうち三つで得点前の回数の方が失点前の回数よりも多かった。

第三に、(3)の比較では、どちらのチームも、動作五つのうち三つで得点前の回数の方が失点前の回数よりも多かった。

第四に、(4)の比較では、動作五つのうち三つで負けたチームの回数の方が勝った(セットを取った)チームの回数よりも多かった。

【考察】

四つの調査方法のうち、(1)～(3)の結果は仮説と近いものになったが、(4)の結果は仮説と異なるものとなった。(4)の結果が仮説と異なるものとなったのは、それぞれのチームの動きに特徴があったことに起因すると考えた。(1)の結果より、試合を行った二つのチームにはそれぞれ回数の多いサンプルがあり、それがチームの特徴となって、(4)の結果が仮説と異なるものとなった。